



令和7年 巳年の始まりです

新年明けましておめでとうございます。今年も本校の教育活動に対してご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

1月7日(火)に始業式を行い、3学期が始まりました。授業日数は46日間だけとなります。3学期は次のステージへの準備の時期であり、特に3年生は自分の進路を決めるときです。3年生全員が希望進路達成できるように、教職員一同頑張っ参ります。そして、4月からは、1年生は「学校の柱」として、2年生は「学校の顔」として、さらに大江中学校を引っ張っていく存在となるように、3学期を大切な準備期間として、日々の教育活動に取り組んで参ります。

<始業式 各学年代表の言葉>

三学年代表 吉野 悠斗

十三日間の冬休みが終わり、今日から三学期が始まります。「四十六」これは何の数字だと思えますか？この数字は今日を含めて三学期終了までの日数です。みなさんは、短いと感じますか？長いと感じますか？私はこの数字を聞いたとき、あまりの少なさに驚きませんでした。三学期は、私達三学年にとって大江中で過ごす最後の学期であり、卒業後の進路を決定する大切な学期でもあります。そこで私は高校入試、卒業に向けて二つのことに力を入れたいと考えています。

一つ目は「最大限の準備」です。私は一、二学期、自分自身の心の弱さに負けて、受験生であるのに学習以外のことに時間を費やし、結果的に学習時間のほうが大幅に短くなってしまうしました。自分の道を自分で切り開くためにはコツコツ地道に学習を重ねること以外に近道はないと思います。三学期は一日一日目標を立てて、努力を積み重ねていきたいです。志望校も入試の日程も、それぞれ違う私たちですが、三学期は学年全体で協力して学習に取り組んでいかなければなりません。今週には入試を迎える仲間もおり、そこから三月七日の公立高校一般入試まで、それぞれの挑戦は続きます。一人ひとりが自分のこれからのために、そして、周りで頑張っている仲間のためにも、最後まで粘り強く、本気で学習に取り組んでいきます。

二つ目は「残りの少ない学校生活を大切に過ごすこと」です。三学期は高校入試、卒業式の準備、卒業式と目まぐるしい日々が続きます。忙しきで自分自身を見失って、あつという間に卒業式とならないように、仲間と過ごす時間を大切にしたいです。そのためには普段あまり話さない仲間や関わりが少なかった仲間と自分から積極的に関わっていききたいと思えます。また、今までお世話になった先生方に感謝の気持ちを持って行動や姿勢で示していきたいです。あと四十六日。短いと感じる人が多いと思いますが、四十六日で何ができるかと考えたほうがきつと自分たちのためになるし、充実した日々を過ごすことができないと思えます。やるべきこと、やっていたことが自分のためになること、自分がやりたいことは一人ひとりが心の中に持っているはずで、それを実行し、後悔せず、感謝を忘れずに過ごすことができる三学期にしたいです。



二学年代表 奥山 颯斗

三学期ががんばることは、学年全員がしっかりと提出物を出すことと、授業中の態度を直すことです。

提出物を出すことについては、今、学年で学習ノートや英単語プリントに取り組んでいます。しかし、提出する人は初めのうちはとても少なかったです。今のうちにこの提出する習慣をつけなければなりません。一年後には公立高校の入試制度が変わり、ウェブでの願書提出など自分の責任で行うことになると思うからです。だからこそ、提出物を出す習慣をつけていきたいです。

次は授業中の態度についてです。私たち二年組では、授業態度をよくしていこうと話し合いました。これは発表している人や前で話をしている人が自分の意見を話しやすく授業に集中できるようにするためです。どの授業にも積極的に臨み、一つ一つの学習課題に真剣に取り組んでいきたいと思えます。

この学年、学級は良いところもたくさんあります。それはみんなが一つになって団結する力です。躍動祭や飛翔祭のようにリーダーが中心となり、一つになって活動することができそうです。みんなで「輪」となり、この大江中をよい方向にもっていけるように頑張りたいです。

このように三学期は二つのことを重点とし、よい点をもっと伸ばしていけるようにしていきます。



私たち一年生が大江中に入学してから、約九ヶ月が経ちました。今でも優しく迎えてくださった先輩方の姿を鮮明に覚えています。入学式の時のことは、今でも忘れません。ここまでの九ヶ月間を振り返り、今後頑張りたいことが三つあります。

一つ目は、「一学年全体の「関わり方」です。入学した時は、同じ出身小学校同士でかたまりがちでしたが、現在は学年全体がみんなと関わることでできており、部活動や行事、生徒会活動を通して仲が深まっています。ですが、仲が深まったことで「よかったこと」「だけではない、課題点もありました。それは言葉遣いです。お互いに慣れたりと、仲間を大切にできない様子をしたり、暴言を吐いてしまったりと、仲間で口調で話をかけたり、優しく教えたりすることは、より仲間を大切にする学年にしていきたいと思っています。」

二つ目は、日々の生活で「感謝」の心を持ち、それを伝えることです。特に、友達・先生・家族に感謝を伝えていきたいです。友達に対しては、勉強などを教えてもらった時などに「ありがとう」と言うようにしています。そのため、三学期は積極的に「ありがとう」と伝えていきたいです。先生方には、授業だけでなく、学校生活の様々な場面でお世話になっています。どの先生も来年かならずいっしょやるわけではなく、伝えられるときにはしっかりと感謝を伝えていきたいです。家族には、ご飯を作ってもらったり、生活のために働いてくれたり、送迎をしてもらったり、生活のためにしてくれたお礼ですが、それだけでは足りませんが、育ててくれた十三年の思い出をすべて伝えるのは難しいですが、自分のために尽くしてくれる家族へ、たくさん「ありがとう」を伝えていきたいです。

三つ目は、努力することです。努力には「目標の実現のため、心や身体を使って努める」という意味があります。普段の生活や部活動など、努力を重ねる場面はたくさんありますが、三学期は特に学習面で努力を重ねていきたく、自分の今後のためにも力をつけていきたいと思います。黙っていても解決しないこともあるため、積極的に行っていきます。

三学期は「関わり」「感謝」「努力」をキーワードに、二年生のゼロ学期として学年全員で成長していきたいです。また、クラスメイトや担当してくださっている先生方への思いをたくさん伝えています。生活できるよう頑張っていきます。



11月28日に生徒会役員改選が行われ、生徒会五役が選出されました。その後、事務局員や専門委員長が生徒会長より委任されました。12月25日には、新生徒会役員リーダー研修会も開きました。いよいよ新しいリーダーのもと1・2年生にバトンが引き継がれます。これまで先輩方が築いてきた伝統に、時には爽やかに、時には熱い風を吹き込んでくれると期待しています。

(敬称略)

会 長	五十嵐 覚	事務局員	清野 來々
副会 長	長岡 奏汰	事務局員	菊地 耕太郎
副会 長	鈴木 里佳	事務局員	五十嵐 陽夏
議 長	鈴木 花步	図書委員 長	鈴木 舞
副議 長	佐竹 由奈	情報委員 長	新宮 柊
事務局 長	渡邊 千晴	美化委員 長	伊藤 大貴
事務局 員	鈴木 嶺桜	保健委員 長	奥山 颯斗
事務局 員	橋本 健		



大江中生の活躍

敬称略 ○数字は学年

- ◎43回全国中学生管打楽器コンテスト山形県大会
寒河江地区優秀賞 村上 凜果(③13区)
- ◎角田商事杯日本少年野球新人大会
優勝 寒河江ボーイズ
- ◎令和6～7年度山形県中学校体育・スポーツ優秀指定選手
水泳 菊地 凜来(②伏熊)
バスケットボール 横山 陸(②市の沢)、レイニング綴良(②小見)
ソフトボール 佐竹 絢姫(②美郷)
柔道 石川 真優(②藤田)、清野 羽玖(②堂屋敷)
- ◎第51回村山地区アンサンブルコンテスト
金賞 打楽器三重奏 ※県大会出場
銀賞 木管六重奏
銀賞 金管七重奏
- ◎山形県探究型学習課題研究発表会
優秀賞 ステムアカデミー(鈴木 嶺桜(②藤田))
- ◎全日本中学生高校生管打楽器ソロコンテスト南東北大会
銀賞 小林 源土(①美郷) マリンバ
- ◎第48回山形県アンサンブルコンテスト
銅賞 打楽器三重奏
- 今秋
1月
2月

●今後の日程

1月中旬～私立高校・国立高専入試
2月 3日 公立高校推薦入試
13日 期末テスト